

## 作業計画と実績

2018年4月3日現在

月日	曜日	予定 (3/22週間予定表より)	実績
3月19日	月		
3月20日	火	・Mouse Stress Defense実験準備	・Mouse Stress Defense実験準備
3月21日	水	・静電浮遊炉(ELF)実験	・静電浮遊炉(ELF)実験
3月22日	木	・静電浮遊炉(ELF)実験	・Mouse Stress Defense実験準備 ・静電浮遊炉(ELF)実験
3月23日	金		
3月24日	土	JAXA PCG 実験	・Mouse Stress Defense 実験準備
3月25日	日	JAXA PCG 実験	JAXA PCG 実験

日付は日本時間

**略語**

- JAXA PCG: タンパク質結晶生成実験
- Space Pup: ほ乳類の繁殖における宇宙環境の影響  
(代表研究者: 若山照彦 山梨大学教授)
- Two-Phase Flow: 沸騰・二相流体ループを用いた気液界面形成と熱伝達特性  
(代表研究者: 大田治彦 九州大学教授)
- Mouse stress Defense: 宇宙ストレスにおける環境応答型転写因子の役割  
(代表研究者: 山本雅之 東北大学教授)
- Area PADLES: 「きぼう」船内の宇宙放射線計測
- PS-TEPC: 位置有感生体組織等価比例計数箱による宇宙ステーション内での線量当量計測技術の確立  
(代表研究者: 佐々木慎一 高エネルギー加速器研究機構・放射線科学センター)
- SEDA-AP: 宇宙環境計測ミッション装置
- MAXI: JEM搭載全天X線監視装置
- ExHAM: 簡易曝露実験装置
- CALET: 高エネルギー電子・ガンマ線観測装置
- ELF: 静電浮遊炉

## 作業計画と実績

2018年4月3日現在

月日	曜日	予定 (3/22週間予定表より)	実績
3月26日	月	[継続実施中] ○船内利用 ・Space Pup実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実施 中) ・Area PADLES ・PS-TEPC実験 ・JAXA PCG実 験  ○船外利用 ・宇宙環境計測 ミッション(SEDA- AP) ・全天のX線天体 の監視(MAXI) ・簡易曝露実験 装置(ExHAM)を 利用した曝露実 験 ・高エネルギー 電子、ガンマ線 パーストの観測 (CALET)	○船外利用 ・宇宙環境計測 ミッション(SEDA- AP)  ・NASAの観測装置(CATS) 移設作業  ・HDTV-EF2 撮影  ・SEDA-AP観測終了
3月27日	火		
3月28日	水		
3月29日	木		
3月30日	金		
3月31日	土		
4月1日	日		

日付は日本時間

**略語**

- Area PADLES: 「きぼう」船内の宇宙放射線計測
- PS-TEPC: 位置有感生体組織等価比例計数箱による宇宙ステーション内での線量当量計測技術の確立  
(代表研究者: 佐々木慎一 高エネルギー加速器研究機構・放射線科学センター)
- SEDA-AP: 宇宙環境計測ミッション装置
- MAXI: JEM搭載全天X線監視装置
- ExHAM: 簡易曝露実験装置
- CALET: 高エネルギー電子・ガンマ線観測装置
- CATS: NASAの観測装置(Cloud-Aerosol Transport System) (「きぼう」船外実験プラットフォームに設置)